

2月18日(土)、待鳳小学校の体育館にて「待鳳こども防災 EXPO が開催され、総勢 200 名近くの参加者で賑わいました。ここでは、当日設けられた7つのブースの説明と、参加者の方々の感想をご紹介します！！

○待鳳学区○
「防災と福祉のまちづくり」ニュース

平成 24 年
2月 23 日(木)
発行

「このように、当日はそれぞれの立場から数多くの意見が出し合われました！裏面では、今後「防災と福祉のまちづくり」のために取り組んでみたい！」といった意見を載せています。



①AED 体験

ここでは、AED(自動体外式除細動器)の使い方を説明します。この機械は、心臓が止まった人に電気ショックを与えることで、もう一度心臓の動きを取り戻すために使います。人のいのちを助けることができる大切な機械です。

②防災食づくり

ここでは「ハイゼックス」という特殊な袋を使ってホットケーキを作ります。袋の中にホットケーキミックス・水・トッピングを入れ、混ぜてからお湯の中に15分ほど入れると完成です。実際に食べてみると、フワフワで美味しかったです。みんなはおいしくできたかな？



③避難所体験

ここでは、災害が起こった時に「福祉スペース」として使われる設備について体験します。中にはシートと寝袋があり、避難所生活の様子を疑似体験することができます。

④防災袋のイロハ

ここでは、避難する時に持って行く「防災袋」の中身を自分で考えます。ラジオ・ろうそく・非常食などが書かれた35種類のカードの中から必要なものを選び、実際に袋に詰めてみます(今回はふろしきを活用しました)。ぜんぶ入るかな？



⑤非常用グッズ作り

ここでは、新聞紙を使って「スリッパ」、キッチンペーパーと輪ゴムで「マスク」を作ります。実際に作ってみると簡単にできます。おぼえておけば、災害時にとても役立ちます！

⑥防災クイズ

ここでは、災害や防災にかんする20個の問題に一つずつ答えていきます。津波の速さ、身の守り方、避難生活に関する問題が出されます。あなたは何点とれるかな？



⑦映像・パネル

ここでは東日本大震災の被災地の映像や写真が紹介されました。ここでは自然の力の大きさや怖さをじっくりと考えることができるとともに、笑顔で力強く生活を取り戻そうとする人々の姿を見ることができます。

●ちょっと紹介「参加したみんなの感想」●

【防災食作り】

「めっちゃおいしい！」
「おいしい！フワフワ！」
「やわらかい！」



【避難所体験】

「(寝袋に入って)寝にくい！全然寝れへん。いつも使ってるフトンの方がフカフカしてる」
「家族みんな並んだら入れへんと思う」

【防災クイズ】

「面白かった！」
「勉強になった！」
「知らんこともあった」

【保護者の方々から】

「すごく良い機会だと思います。もうすぐ震災から一年なので、いろいろな意味で親も子も考えるキッカケ作りになりました」「AEDをやりました。やってみて「こんなふうによればいいんだ」ということが分かって、すごく良い体験になりました」



災害「にも」つよい地域づくりを目指して！！

コラム

佛教大学の後藤至功(ゆきのり)先生よりコメントをいただきました！！

「学校における防災教育の可能性」

今回の東日本大震災において、多くの学校が被災を受けましたが、岩手県釜石市の釜石東中学校では、日頃の防災教育の成果が大いに活かされる結果となりました。

発災時、釜石東中学校の生徒は、日頃の訓練の通り、予定されていた避難場所へ移動をしますが、その道中に、同じ地域にあつた鶴住居小学校の生徒の引率役を担い、無事、安全な高台まで避難をすることができました。

また、同中学校では、地域の高齢者に対し、「安否札」を配布し、災害時に避難をする際にこの札を玄関先に掲げることを運動的に推進をしてきました。

この取り組みは、地域に根付き、地域の避難誘導活動に役立てられました。

ぜひ、京都でもこのような取り組みを少しずつ推進していきたいものです。

佛教大学

後藤 至功

